

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 各教育活動に、生徒の90%以上が満足している。	・選択科目を設定し、生徒の要望に応じた授業を展開する。 ・生徒の自己肯定感を高めるために学校行事を精査し、活動の記録、振り返りにより「創造・想像力」「チャレンジ力」「レジリエンス」を育成する。 ・球技大会や芸術鑑賞教室、文化祭など行事を通じて「向上心」や「コミュニケーション能力」を養う。 ・普通科では「総合的な探究の時間（みなかみふるさと創生学）」、商業科では「課題研究」で、各授業の探究サイクルを通じて生徒の学び力を育てていく。	A	B	A	第1回、第2回のアンケートで、8割以上の生徒・保護者が特色ある教育活動を行っていると回答した。普通科では「みなかみふるさと創生学」、商業科では「課題研究」で、発表や商品開発を通じて、課題解決能力や協調性といった非認知能力の育成を図っている。今後も、生徒の主体性や自己肯定感を育めるように、さらなる改善を検討したい。	教育活動に関しては、みなかみふるさと創生学や課題研究など、利根商ならではの教育活動の工夫とその成果がみられた。そのような生徒の活躍をもっと校外にも発信し、今の利根商を理解してほしいと感じた。そのためにも、今後も継続して学校の特色ある教育活動の魅力が明確になるように、改善を重ねていく必要があると考えられる。施設に関しては、生徒の心身の成長には欠かせないものであるため、安全を確保しながら管理をお願いしたい。学校周辺環境についても、近くの交差点に信号機が設置されたり、野球やサッカーのグラウンドに向かう道路上に横断歩道が設置されたりするなど、安全面で充実した。
		② 「学校の特色ある取組」を、生徒の80%以上が満足している。	・学習室や屋内運動場、人工芝グラウンドなどの施設を有効活用し、充実した学校生活を提供する。 ・インターンシップを通じて地域に根ざした職業人の自覚を養うとともに、社会人としての資質や能力を育成する。 ・指導者の充実や施設の整備を行い、部活動の活性化とともに目標に向かってチャレンジする心を育てていく。 ・生徒と保護者、教員間でコミュニケーションをとりながら、満足度の高い方策を模索する。	A	A	A	学校施設が充実していると感じている生徒は、第1回 95.0%、第2回 93.9%と共9割を超えている。現在の施設利用に関しては、部活動や授業だけでなく、その施設の特徴をふまえて学校行事でも活用している。また、部活動に満足していると回答した生徒は第1回 79.8%、第2回 79.8%となった。今後は「寮生と県内組の壁をなくす」、「人工芝を整備してほしい」「体育館の床を滑りにくくしてほしい」、といった生徒の声や「部活で定期的なおフの日を作る」といった保護者の方の声に耳を傾けて、生徒と保護者、教員間でコミュニケーションをとりながら実現可能なより良い道を模索していきたい。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③ 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施し、生徒の90%以上が達成感や満足感を感じている。	・英語と数学、商業科目を中心に、習熟度別指導や少人数指導を行い、生徒の実態に応じた授業を展開する。 ・勉強法のアドバイスを記載した試験範囲表を配付し、生徒の試験勉強へのモチベーションを高める。	A	B	A	アンケートでは、「習熟度・少人数制・目標別授業形態に満足している」と答えた生徒と、「学習全般について達成感・満足感を持っている」と答えた生徒は第1回、第2回ともに8割を超えている。現在本校では、生徒の試験勉強へのモチベーションを上げるために、勉強法のアドバイスを記載した試験範囲表を試験2週間前に配布するようにしている。また生徒の多様なニーズに応えるために、英検、入試、基礎固めを意識した早朝補習を行っている。また、商業科では全商検定1級3種目以上取得を目標に、資格取得に向けた時間割や授業、士気を高めるための声かけ、朝補習と放課後指導などを行っている。一方で2回のアンケート結果より、「お子さんは、資格取得について達成感・満足感をもっている」と回答した保護者は5割強、「職員は、生徒の進路目標に応じた学力を身につけさせられた」と回答した保護者は7割弱となった。昨年度から今年度にかけて、上記質問に対する肯定的な回答が1割程度上昇した。この結果をふまえ、生徒だけでなく、保護者の方からも理解を得られる指導を続けていきたい。	全体的に生徒に合わせて、先生方が様々な工夫を取り入れて指導されていると感じる。時代とともに授業方法や取り扱う内容は変化したが、先生方はそれに合わせて日々の授業を工夫されていると感じた。特にエージェンシーを育てる目的で実施されていた「あなたならどうしますか」はとても効果があるように感じる。今後はさらなるいろいろなことにチャレンジする生徒が増えるよう、指導していただきたい。
		④ 資格取得に向けた学習指導に、生徒の90%以上が満足している。	・簿記週間、情報週間、商経週間でそれぞれ設定し、学校全体で資格取得に向けた雰囲気作りを努める。 ・朝補習を実施し、資格取得に向けた学習の場を提供する。	A	B	B	・単元テストや小テスト、定期試験の充実を図り、基礎基本となる学力の定着に努める。 ・朝補習の講座として、基礎基本を重視した講座を開講し、多様なニーズに応える。	
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤ 意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が、90%以上である。	・生徒の学力を外部の試験を活用して定期的に測り、その結果と生徒の目標をふまえた本校独自の学習計画を立て、補習や課題、学習週間などを設け、基礎学力の定着に努める。	A	B	B	・分掌会議や学年会議等を定期的に開催し、教職員間の連携と生徒情報の共有を図り、組織的な学校運営を展開する。	
		⑥ 進路目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が、90%以上である。	・全職員による生徒観察を通して早期発見・早期対応に努める。また、授業、学校生活や特別活動、アンケート、二者面談週間によりいじめを許さない雰囲気作りといじめの未然防止に努める。	A	A	A	・中・長期的に欠席した生徒宅へ家庭訪問し、学校生活への支援を行う。また、教員から積極的に声かけを行うとともに、朝活動の実施による遅刻の抑制を図る。 ・SNSにおけるマナーの指導を徹底し、健全な交友関係を築けるよう支援を行う。	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦ 職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に1～2回程度実施している。	・各教科・科目の授業やLHRの時間を通してキャリア教育を推進する。 ・校内進路ガイダンスや進路セミナーを定期的に開催し、進路意識を高めていく。 ・進路講演会や校外進路ガイダンスへ主体的に参加することで広い視野をもって進路をとらえさせる。	A	A	A	計2回のアンケート結果より、「学校は、組織的・計画的にいじめに関する取り組みを実施していると思う」と回答した教員は、第1回 93.3%、第2回 93.1%であった。また、「学校や先生方は組織的・計画的にいじめに関する取り組みを実施していると思う」と回答した生徒は、第1回 86.8%、第2回 89.5%であった。生徒に関する情報交換は、定期的に行われる職員会議・学年会議に加え、臨時的な会議を開き、経過や変更、詳細などの情報を共有することで、迅速且つ組織的な対応を行っている。また、気になった生徒がいた場合は担任・副担任の先生など他の先生方に報告し、相談するということや教員一人ひとりが意識して行っている。引き続き、いじめや問題行動が見られる生徒に関して、組織的な迅速対応を心がけていきたい。生徒の健康に関しては、「規則正しい生活を心掛け、欠席や遅刻をしないようにしている」と回答した生徒は第1回 97.5%、第2回 97.7%であった。本校の生徒の健康に関する取り組みについては、教員から生徒に対しての積極的な声かけに加え、心配がある生徒に関しては、養護教諭への報告・相談・情報共有といった密な連携を図っている。	自己肯定感の低い、あるいは自己中心的な生徒など、指導が大変な生徒も少なからずいると思うが、生徒の良さを引き出せるような指導をお願いしたい。また、ルールを守る、挨拶をする、健康で規則正しい生活を送るといった社会に出てからも重要で当たり前のことができるように徹底して指導をしていただきたい。生徒が楽しんで生活を送ることで出席率の向上や、充実した学習につながる。そのために、魅力的な学習活動を充実させてほしい。
		5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	⑧ 「学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めている」と認識している生徒が100%である。	・「進路だより」を毎月発行し、生徒や保護者に進路情報を密に提供する。 ・進路指導室や進路閲覧室を充実させ、生徒に積極的な利用を促す。	B	B	B	
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑨ 出席率が80%以上である。	・PTA総会や学年保護者会等の時期を柔軟に調整するとともに内容を精査し、有意義なものにする。 ・学年保護者会での配布物や簡潔な議事録を安心メールで配信し、出席が難しい保護者にも情報が伝わるようにする。	A	B	B	PTA総会や保護者会では、より多くの保護者の方に参加していただけるよう、県外にお住いの方やお仕事で忙しい方のことを配慮して、週末実施を心がけている。また、話し合いの項目は重要なものに絞る、個別の対応時間を設ける、積極的な姿勢を心がけるなど工夫をしている。アンケート結果より、おおよそ7～8割ほどの保護者の方に参加していただいていることがわかった。保護者の方の都合もあり、PTA総会や保護者会の参加率を上げることは困難もあると思われるが、学校評価アンケートの自由記述欄に胸の内を語ってくださる方が多くいらっしゃるため、今後も定期的な保護者会、PTA総会に加えて匿名アンケートを活用していきたい。また、学校のWebページを見たことがあると回答した保護者の方は、第1回、第2回ともにおよそ9割であった。一方でアンケートより保護者の方から「学校の予定や様子がわからない」といった声や、「学校は、家庭や地域社会に積極的に情報発信をしていると思う」と答えた保護者は第1回、2回共に7割弱であった。Webページに週に1回のペースで学校の様子をアップロードしたが、保護者アンケートに成果は現れなかった。今後についても、保護者の方や地域の方により安心していただけるような情報発信をしていきたい。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑩ 「自己の生き方」と「将来の職業」とを関連させた進路指導を行っている、生徒の90%以上が評価している。	・「進路だより」を毎月発行し、生徒や保護者に進路情報を密に提供する。 ・進路指導室や進路閲覧室を充実させ、生徒に積極的な利用を促す。	A	A	A	「学校は『自己の生き方』や『将来の職業を考えるための活動』を実施している」と答えた生徒は、第1回 91.7%、第2回 92.2%であった。一方「学校は、生徒に適切な進路情報を提供している」と答えた保護者は、第1回 78.0%、第2回 78.2%であった。現在の取り組みに関しては、授業やLHR、また外部の方をお招きしたセミナーやガイダンス、進路だよりの発行、進学説明会への積極的な参加の呼びかけなどを通して、1学年から3学年まで計画的に生徒に対して進路指導を行っている。今後は、保護者の方のニーズを把握して可能な限り改善に反映させること、生徒の進路に関する資料や取り組みの様子が保護者の方に伝わることを意識して、ご家庭での話し合いの促進も意識していきたい。また、「学校からの配布物を読んで活用している」と回答した生徒は、第1回 80.6%、第2回 77.1%であった。現在の取り組みとして生徒に対しては、進路だよりや職業体験、進路・進学セミナーについてのお知らせを配布・掲示し、配布した資料を、安心メールで配信し、保護者へ直接届くよう工夫した。さらに生徒が資料を活用しようと思えるように、具体的な活用法やメリットを伝えていきたい。	生徒の進路選択に関わる指導に関しては、資料配布や講演会、LHR等を活用して、生徒自身が自分の進路について考える機会を用意していることがうかがえる。探究活動を通して主体性が身につけているように感じているため、今後も、生徒自身で自らの目標を見つけれられるように、引き続き指導をお願いしたい。
		⑪ 生徒の将来の志望について理解している保護者が、90%以上である。	・定期的な学校だよりの発行やWebページ、ブログの更新を行い、保護者や地域への情報発信に努める。 ・各種便りを安心メールで配信し、情報発信に努める。	A	B	A	・学習用端末を活用した授業により理解の深化を図る。また、ICT機器を積極的に利用し、学習に対する興味・関心を高める。 ・キャリアナビを利用した学習支援を積極的に行う。	
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑬ PTA総会、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が、80%以上である。	・安心メールでの通知やグループフォームでの出欠連絡、アンケート利用等、ICTを活用して積極的に生徒や保護者、職員への通知を行う。	A	A	A	「学校では、学習用PCやタブレット等を積極的に利用した授業が行われている」と回答した生徒は、第1回 88.1%、第2回 84.8%となった。ほとんどの生徒はICTを活用した授業に満足しているとうかがえる。また、同じ回答をした教員は、第1回 83%、2回それぞれ83%、75.8%と、令和5年度から比較して20%程度上昇した。令和6年度からBYODが始まり、教員間で情報を共有しながら生徒の学びのために、ICT機器のより良い活用法を提供してきたといえる。「学校からの安心安全メールなどを利用した通知に満足している」と回答した保護者は、第1回、2回ともに9割を超えていた。今後は、業務改善にICT機器等を活用していきたい。	日頃より、学校便りやホームページ、安心安全メール、SNS、Youtube等を活用して、積極的に学校の情報を発信している様子がうかがえる。特に、今年度から始めた学校公式のInstagramでの発信は利根商を知る機会になると思う。
		⑭ 学校のWebページを月4回以上更新し、また、学校だよりを月1回以上発行している。	・安心メールでの通知やグループフォームでの出欠連絡、アンケート利用等、ICTを活用して積極的に生徒や保護者、職員への通知を行う。	A	A	A	・探究活動を通して数多くの商品を開発していることは素晴らしい。今後は商品開発で終わりにせず、流通・販売まで手掛けることができるともっと良くなるのではないかと感じた。それらをきめて、学習活動や地域との連携などの情報発信をしてほしい。	
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑮ ICTを活用した授業に、生徒の90%以上が満足している。	・安心メールでの通知やグループフォームでの出欠連絡、アンケート利用等、ICTを活用して積極的に生徒や保護者、職員への通知を行う。	A	A	A	・探究活動を通して数多くの商品を開発していることは素晴らしい。今後は商品開発で終わりにせず、流通・販売まで手掛けることができるともっと良くなるのではないかと感じた。それらをきめて、学習活動や地域との連携などの情報発信をしてほしい。	
		⑯ ICTを活用した通知に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	・安心メールでの通知やグループフォームでの出欠連絡、アンケート利用等、ICTを活用して積極的に生徒や保護者、職員への通知を行う。	A	A	A	・探究活動を通して数多くの商品を開発していることは素晴らしい。今後は商品開発で終わりにせず、流通・販売まで手掛けることができるともっと良くなるのではないかと感じた。それらをきめて、学習活動や地域との連携などの情報発信をしてほしい。	
VII 教育デジタル化に努めていますか。	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑰ ICTを活用した通知に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	・安心メールでの通知やグループフォームでの出欠連絡、アンケート利用等、ICTを活用して積極的に生徒や保護者、職員への通知を行う。	A	A	A	・探究活動を通して数多くの商品を開発していることは素晴らしい。今後は商品開発で終わりにせず、流通・販売まで手掛けることができるともっと良くなるのではないかと感じた。それらをきめて、学習活動や地域との連携などの情報発信をしてほしい。	
		⑱ ICTを活用した通知に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	・安心メールでの通知やグループフォームでの出欠連絡、アンケート利用等、ICTを活用して積極的に生徒や保護者、職員への通知を行う。	A	A	A	・探究活動を通して数多くの商品を開発していることは素晴らしい。今後は商品開発で終わりにせず、流通・販売まで手掛けることができるともっと良くなるのではないかと感じた。それらをきめて、学習活動や地域との連携などの情報発信をしてほしい。	